

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



EVRI

# 研究拠点創成フォーラムNo.12: 第1回教科教育国際会議 「東アジアにおける 教科教育学のパラダイム」 を開催しました



活動日時 2019年2月17日(日)10:00-17:10

活動従事者 草原和博, 影山和也, 木下博義



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2019年2月17日に知識創成フォーラム(12)「第1回教科教育国際会議：東アジアにおける教科教育学のパラダイム」を開催しました。本フォーラムは、日本教科教育学会との共催によるもので、アジア各国の有力大学から研究者を招聘し、「学問領域としての『教科教育学』は各国でどのように定義されているか」について議論しました。

午前の部は、数学科教育に焦点をあてて、日本・中国・韓国各国の提案とインドネシアからの問題提起がありました。授業の語りに見られる地域的なコンテキストの影響、授業分析の視点の相違などをめぐって意見が交わされました。

午後の部では、音楽科や社会科を事例に、日本・中国・韓国とカンボジアの研究者が発表しました。意見交換を通して、各国で教科

教育学が確立されてくる経緯や学問体系から見た教科教育学の位置づけの違いが浮き彫りになりました。

その後のディスカッションでは、PCKの評価を主たる論点にして議論が進みました。アジア各国の教育学(の知識)の構造、教員養成のシステム、教員に期待される専門的知識、教育政策上の優先課題、海外からの学術的背景や大学内の権力作用等が複雑に作用し、教科教育学のパラダイムが多元的に存立していることが確認されました。

第1回の会議は和やかな雰囲気でも始まりながらも、終盤では白熱した議論が展開されました。来年度以降も第2回・第3回のシンポジウムを継続的に開催し、広島大学を拠点に東アジアにおける教科教育学のパラダイムを協働して追究して参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

